

関係者 各位

2012年8月31日（金）

経済復興の中における働く個人の価値観の変化
—【リスク回避型・安定志向】の若手社員が増加—
【キャリアデザインレポート 2012—25～34 歳、現役会社員の意識調査—】

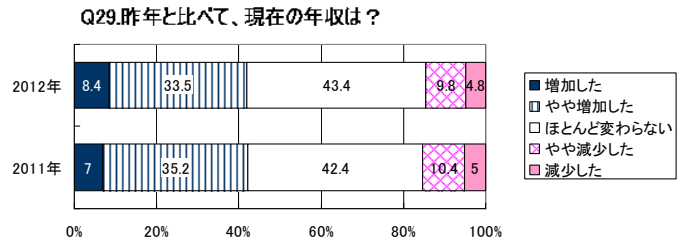
株式会社キャリアデザインセンター(以下 CDC、本社:東京都港区、代表取締役社長兼会長:多田弘實)は、若手社員を対象に仕事・転職・キャリア意識に関する調査(以下、本調査)を実施いたしましたので、お知らせいたします。



1. 景気持ち直しとともに所得もやや増加傾向に

2011年3月に発生した東日本大震災により、日本経済は大きな打撃を受けたが、2012年に入ると、復興需要などの影響もあり、景気は持ち直しの動きを示している。

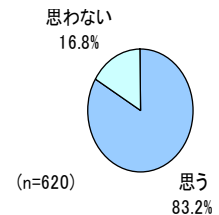
その影響は所得面にも顕著に表れており、「昨年と比べて現在の年収は？」という問いには、「増加した」とする回答が約4割に対して、「減少した」は約1割に留まった。



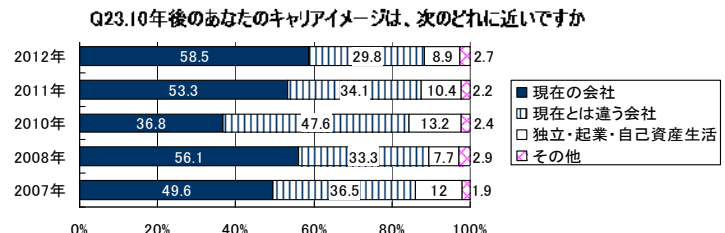
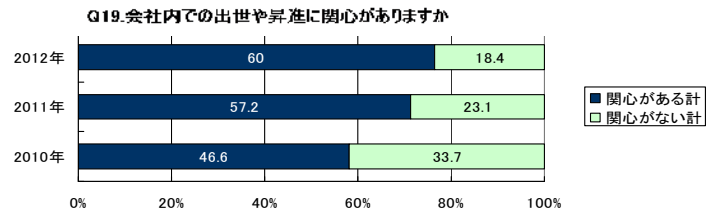
2. 転職意向は8割超えるも、転職の必要性は減少傾向

働く個人については、8割以上の方が「よりよい会社があれば、現在の会社を辞めて転職してもよい」と考えている。しかしその一方で、昇進への意欲、関心は最近の調査で上昇傾向にある。また社内で昇進し、キャリアを重ねていきたいという意向が顕著に表れており10年後も現在の会社で仕事を続けるイメージを持つ人は増え、ここ5年で最高値となっている。

Q3.より良い会社・仕事があれば、転職しても良いと思いますか。



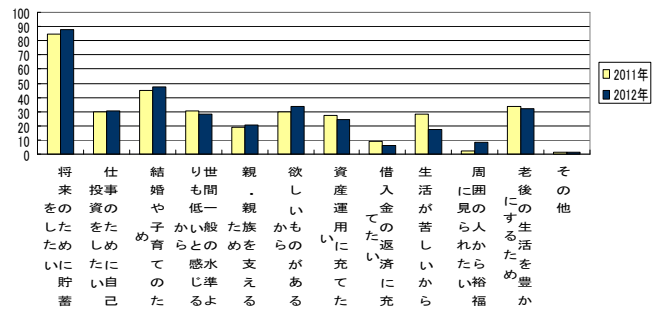
前述した景況感の回復や所得面の改善もあり、ひとつの会社の中で昇進を目指して働くというキャリア形成が徐々に支持されつつあり、すぐに転職する必要性を感じない人々が増えてきたようである。



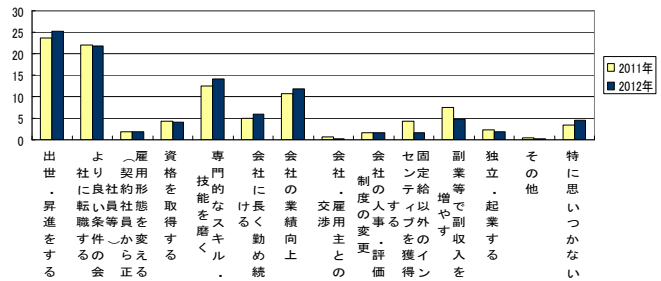
3. 社内での昇進、収入増に直結—収入増の目的は将来への貯蓄

本調査では現在よりも収入を上げたいと回答した人の割合は約 6 割にのぼり、その理由としてほとんどの人が将来のための貯蓄と回答している。こちらも昨年と比較すると3.1ポイント増加している。また、「収入を上げるために最も重要な要素は？」という問いに対して「出世・昇進をする」という回答が最も多い結果となり、昨年と比較しても2.6ポイント上がっている。

Q36. 年収を現在よりも上げたいと思う理由は何ですか。



Q37. 収入を上げるために、最も重要だと思う要素は次のうちどれですか。

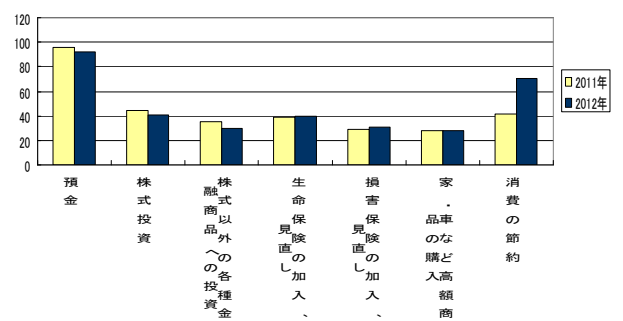


このように、「将来の貯蓄のために、社内で昇進をして収入を上げたい」傾向は明らかであるが、この背景にはバブル崩壊から現在に至るまでの中で、日本の賃金体系が変化し、収入の手段が会社からの給与中心となってしまったことが関係していると思われる。自身の業績結果が収入に直結する歩合制の賃金体系の減少や副業の禁止などにより、社員の収入の源泉は自身が働くことで得られる給与となり、その結果、収入を上げるために昇進を目指す傾向が強まっていると考えられる。

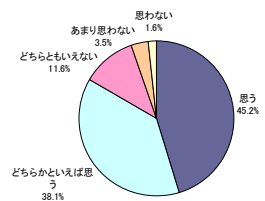
4. 節約志向は強い—将来設計のための節約

収入を上げるための手段の一つとして、消費の節約を積極的に行いたいと考える人は前回よりも増加しており、先行きの不透明感は依然として根強い。また、若手社員の45%は安定した収入が無いと家庭は持てないと考えており、将来設計のために一層の貯蓄、節約を惜しまない若手社員は今後も増えると予想される。

Q38. 貯蓄や投資、消費等について、現在の考えに最も近いものをお選び下さい。



Q39. 安定した収入がないと、家庭を持つのは難しいと思いませんか。



5. 今の若手社員は「リスク回避・安定志向」型

長引く不況や大震災を経験してきた個人は、リスクを回避する傾向が強くなり、「よいところがあれば転職する」とはいうものの、実際には転職に対し慎重である、という矛盾が見られる。また、多くの個人が将来の貯蓄のために収入を上げたいと考えている。今後も将来設計、将来の安定のために、年収増を追い求め、一層の貯蓄、節約を惜しまない若手社員は増加傾向にあるだろう。

■ キャリアデザインレポート 概要 =====

【キャリアデザインレポート】は、キャリア転職サイト『@type』を運営するCDCが、首都圏在住の現役社員に対し、「若手社員の仕事・転職・キャリアの意識」を経年的に把握する目的で調査を実施しているもので、今年で15回目となる。

【2012 調査概要】

調査名 キャリアデザインレポート 2012 (No.15)
調査目的 仕事・転職・キャリアについて、若手ビジネスパーソンの意識を探る
調査対象 25～34 歳・大卒以上・現在正社員又は契約社員として就業中の男女
調査地域 首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城の各都県在住者）
調査方法 インターネットリサーチ
調査時期 2012 年 6 月 26 日(火)～ 2012 年 6 月 27 日(水)
有効回答数 全体 620（男性 434／女性 186）

※詳細はこちらをご覧ください。

URL: http://type.jp/ir/report/cd_report2012.pdf

■ 株式会社キャリアデザインセンター 会社概要 =====

本社所在地 ■ 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-20 赤坂ロングビーチビル

資本金 ■ 5 億 5866 万円

設 立 ■ 1993 年 7 月 8 日

従業員数 ■ 280 名 (2012 年 6 月 30 日現在)

代表者 ■ 代表取締役社長兼会長 多田 弘寛

事業内容 ■

- ① キャリア転職の専門情報サイト『@type』『女の転職@type』『営業の転職@type』等の運営
 - ② 適職フェアの開催
 - ③ 人材紹介事業(厚生労働大臣許可 13-ユ-040429)
 - ④ 一般労働者派遣事業(厚生労働大臣許可 般 13-304673)
 - ⑤ 質の高い就職活動を情報誌、イベント、情報サイトで支援する『就活 type』サービス
 - ⑥ パンフレット、ノベルティー採用 HP 作成などのアウトソーシング事業
 - ⑦ Web マガジン『エンジニア type』『Woman type』の企画・編集・運営
- など、企業の採用活動をサポートする総合的なソリューションサービスを提供しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社キャリアデザインセンター CDC 総合研究室 渡邊真啓
E-mail: reserch@type.jp Tel: 03-3560-1601 Fax: 03-3560-1605